

草の根 通信

VOLUME

120

Kusanone Tsushin

[2024年9月発行]



Welcome to
Wakayama



Thank you!



特集

和歌山大会開催報告

第32回日米草の根交流サミット2025

サンフランシスコ・ベイエリア 開催決定

関連団体情報

Japanese Hospitality Wherever You Fly



----- 第31回日米草の根交流サミット2024 -----

和歌山大会開催報告

7月9日(火)から15日(月)までの7日間、「日米草の根交流サミット 2024 和歌山大会」が和歌山県内 8市町で開催されました。2021年に予定されていたこの大会は、コロナ禍により延期を余儀なくされていましたが、ようやく実現にいたりました。今回はアメリカの他、カナダやマレーシアからの参加者が来日し、豊かな自然や歴史に溢れる和歌山県で、ホストファミリーやボランティアたちとの心温まる交流を体験しました。

和歌山大会スケジュール

7月9日(火)	参加者 和歌山市集合	ホテルグランヴィア / ダイワロイネットホテル泊
7月10日(水)	午前～午後 ローカル・オプション・ツアー(3コース) 夕刻 オープニング式典・歓迎レセプション	
7月11日(木)	午前 地域分科会へ出発	ホームステイ
7月12日(金)	終日 地域分科会プログラム	ホームステイ
7月13日(土)	終日 地域分科会またはホストファミリーと過ごす一日	ホームステイ
7月14日(日)	午前～ ホストファミリーと和歌山市へ移動 午後 和歌山県立近代美術館訪問(一部分科会) 夕刻 クロージング式典・フェアウェルパーティー	ホテルグランヴィア / ダイワロイネットホテル泊
7月15日(月)	午前 解散 / ポストサミットへ出発	

大会参加者数

来日参加者関係者 **82名**
大会参加者総数 **1,325名**

主催団体

共催：和歌山県、CIE、CIE-US
運営：日米草の根交流サミット
和歌山大会実行委員会
後援：在大阪・神戸米国総領事、
全米日米協会連合 (NAJAS)



第7回 草の根サミット同窓会^{プラス}

主催：サミット同窓会実行委員会

日本人のサミット参加者同窓生による同窓会が、2019年の兵庫・姫路大会以来、5年ぶりに開催されました。今回より、同窓生の他、賛助会員の方々にもご参加いただけるよう「草の根サミット同窓会+」と改名。今年は38名の同窓生、賛助会員たちが日本各地から和歌山市に集い、9日夕刻の「懇親会」、翌日のローカルツアー「民俗コース」とオープニング式典・歓迎レセプションを通して、交流と講演、観光を楽しむ2泊3日を過ごしました。

懇親会 特別講演

「移民と美術 和歌山の渡米画家たち」

奥村一郎氏 (和歌山県立近代美術館 教育普及課長・学芸員)

「古民家の魅力」

瀧下嘉弘氏 (日本古民家保存協会代表)

「アメリカ捕鯨と万次郎」

櫻井敬人氏

(太地町歴史資料室学芸員・
ニューベッドフォード捕鯨博物館顧問学芸員)

サミット同窓会実行委員会

会 長：中山^{よしえ}貴恵 副会長：魚岸^{しのぶ}志乃富
事務局：小高^{ひろこ}美喜、轟木洋子、平田潔



Day

1

7/9 火

和歌山到着

関西空港に集まった参加者たちは和歌山県のスタッフに温かく迎えられました。これから始まる一週間、和歌山県の市民たちとの新しい出会いと交流に期待が高まっていました。



Day
2 / 7 / 10 水



A 密教コース
(葛尾中学校修学旅行合同プログラム)



B 万葉・徳川コース



C 民俗コース
(同窓生合同プログラム)



ローカル・ オプショナル・ツアー

参加者たちは、和歌山市周辺を巡る3つのツアーのいずれかに参加し、地域についての知識を深めました。**A** 密教コースには、修学旅行の一環として福島県葛尾村の中学生も参加し、アメリカ人との交流を楽しみました。**C** 民俗コースで訪れた和歌山県立風土記の丘では、建築家の瀧下嘉弘氏から移築保存された和歌山県の古民家について詳しい説明を受けました。また、サミット期間中には、万次郎資料調査団の協力による「万次郎展」も開催されました。

●『万次郎展』



和歌山電鉄路線
貴志川線のアイドル猫の
「たま駅長」もお出迎え



和歌山市立図書館での万次郎特別展
(協力：万次郎資料調査団)

オープニング式典 + 歓迎レセプション

夕刻には、和歌山県主催のオープニング式典とウェルカムレセプションが催され、県内や日本各地より総勢約190名が集結しました。会場では万次郎とホイットフィールド船長から代々180年以上続く友情と絆を参加者と共に祝い、家族と日米両国の友好の象徴である地球儀の交換式も日本で5年ぶりに行われました。草の根交流サミットに関心を寄せていらしたエマニュエル駐日米国大使夫人のエイミー・ルール氏も駆けつけられ、「サミットは、本当の日本を体験しながら国境を越えた個人的な友情から始まる、日米のパートナーシップの基礎を築くまたとない機会である」と述べられました。



オープニング式典 @和歌山県民文化会館

万次郎とホイットフィールド船長子孫による
挨拶と地球儀交換

歓迎の挨拶

来賓挨拶



櫻畑直尚 実行委員会会長



下宏 和歌山県副知事



石川和秀 CIE 理事長



マシュー・C. ベリー
ベリー提督子孫



中濱京
万次郎直系5代目子孫



スコット・ホイットフィールド
ホイットフィールド船長6代目子孫



地域分科会キーパーソン紹介



福島県葛尾村中学校の紹介



中濱文 万次郎直系5代目子孫とワイアット・ホイットフィールド
ホイットフィールド船長7代目子孫による地球儀交換

ウェルカムレセプション @ダイワロイネットホテル和歌山



犬塚康司 和歌山市副市長
(和歌山市長代理)
による歓迎の挨拶



エイミー・ルール・エマニュエル
駐日米国大使夫人



ディミトリ・ロレンゾン
CIE-US 理事長による乾杯の挨拶



海南高等学校美里分校の生徒たちによる
開会の太鼓演奏



待ち侘びた和歌山大会開催に乾杯!

Day
3~5

7/11(木) ~ 13(土)

地域分科会

==ホームステイを含む文化交流プログラム==

地域分科会はサミットの最大の魅力です。参加者たちは県内の8つの地域に分かれ、それぞれの地域のキーパーソンやボランティアによる手作りのプログラムを通じて、地元の人々との交流を楽しみました。ホームステイでは、日本の文化や習慣に戸惑いながらも、ホストファミリーの温かいおもてなしを受け、草の根交流ならではの新たな出会いから始まった友情を深めました。



地域分科会

- ① 和歌山市 (11名)
- ② 橋本市 (10名)
- ③ 田辺市 (9名)
- ④ 白浜町 (11名)
- ⑤ 上富田町 (8名)
- ⑥ 串本町 (8名)
- ⑦ 那智勝浦町 (9名)
- ⑧ 新宮市 (8名)





Day
6 / 7 / 14 日

クロージング式典 + フェアウェルパーティー

@ ホテルアバローム紀の国



3泊4日のホームステイを終えた日曜日、参加者たちはホストファミリーと共に、サミットのフィナーレであるクロージング式典会場のある和歌山市に集まりました。式典では、各プログラムの報告や感想がキーパーソンや参加者から発表されました。短期間ではあったものの、深い交流ができた感想や、これから続く友情への期待が語られました。デジタル化が進む今だからこそ、人と人との交流の大切さを改めて感じ、和歌山の素晴らしいホスピタリティを体験できたとのこと。参加者、ホストファミリー、そしてスタッフたち皆が、別れを惜しまました。翌日曜日、参加者たちは楽しい思い出を胸に、それぞれの目的地やポストサミットプログラムへ向けて出発しました。

クロージング式典



岸本周平 和歌山県知事



尾花正啓 和歌山市長



ディミトリ・ロレンゾン
CIE-US 理事長



ラリー・グリーンウッド
北加日本協会会長



藪添泰弘 副実行委員長



橋本分科会報告

フェアウェルパーティー



ポスト・サミット・オプション・プログラム

大会後、和歌山以外の地域での交流を希望する参加者向けに、京都または奈良県明日香村でのホームステイを含む交流プログラムと、フリーのコースを用意しました。

- OP1 京都ホームステイ&東京フリー (9名)
- OP3 大和飛鳥ホームステイ&東京フリー (7名)
- OP4 京都フリー (7名)、OP5 東京フリー (4名)
- OP6 京都・東京フリー (1名)



和歌山大会参加者の声

- 私の地元のセッションに参加した他の参加者たちや、キーパーソンや通訳の方々と知り合いになれたのは本当に楽しかったです。
- マグロの解体ショーは見事でした。その後に食べたマグロのお寿司は、今まで食べた中で一番美味しいものでした。

エイミー・ルール・エマニュエル駐日米国大使夫人からのメッセージ

—— オープニング式典 & 地域分科会（橋本市の一部）に参加された

和歌山で開催された日米草の根サミットに参加できたことは、大変貴重な経験でした。このユニークなプログラムは、日米両国のパートナーシップを強化する個人的な関係を築くものです。日本とアメリカの参加者と交流し、草の根レベルでの交流を共にできたことを嬉しく思います。

特に、ウィリアム・ホイットフィールド船長、中濱万次郎、ペリー提督の子孫の方々と共にこの特別な機会を祝えたことは光栄でした。

31回目を迎えるこのサミットは、これらの家族と両国の歴史的な友情を体現しています。今後のサミットへも興味と期待を持って見守っていききたいと思います。

Media

Check!!



YouTube



▲和歌山県政ニュース (Youtube) [07:03~16:49] (約9分)



▲熊本新聞 7/13付

紀南新聞 7/17付

次回サミット予告

第32回 日米草の根交流サミット2025

サンフランシスコ・ベイエリア大会開催日決定!!

2025年6月3日(火)～10日(火)

地域分科会(予定)

- サンフランシスコ
- ノースベイ (セバストポリ・ソノマ)
- イーストベイ (オークランド・バークレー)
- ペニスラ (バーリングゲーム・サンマテオ)
- サウスベイ (サンタクララ・サンノゼ)

関西在住の方に朗報!

席数に限りがありますが、関西空港発
サンフランシスコ直行便も用意しています!

共催：CIE、CIE-US、
北加日本協会
(Japan Society of Northern California)



第33回 日米草の根交流サミット2026 フィラデルフィア大会 開催決定!!

2026年10月 中旬～下旬

アメリカ合衆国独立記念250年を
独立の地で祝いましょう!

関連団体情報

- 一般社団法人 日米協会主催

【第4回 アメリカボウル大会】

—— クイズに挑んでアメリカへ行こう

日 時： 2024年11月17日(日)
13:30～17:00 13:00受付開始

申込締切： 2024年10月17日(木)

応募方法： 下記リンク/QRコードより応募要項・申込
フォームへアクセスください



◀【アメリカボウル特設サイト】
<https://america-bowl-ajs.jimdosite.com/>

【第9回 土佐清水市ジョン万祭り】 ● 土佐清水市主催

日 時： 2024年10月26日(土)
場 所： 高知県土佐清水市内

【ジョン万サミット】 ● 土佐ジョン万会主催

日 時： 2024年10月26日(土)
場 所： 土佐清水市内

【万次郎忌】 ● NPO法人中浜万次郎国際協会主催 雑司ヶ谷霊園にて墓参、懇親会

日 時： 2024年11月9日(土)
お問合せ： 中浜万次郎国際協会(JMII)事務局
e-mail : manjiro.info@gmail.com

寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan



株式会社アイシン
AISIN CORPORATION



愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION



株式会社オーハシテクニカ
Ohashi Technica, Inc.



株式会社紀陽銀行
The Kiyo Bank, Ltd.



株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION



全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.



ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.



株式会社デンソー
DENSO CORPORATION



株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.



豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.



トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION



株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation



豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation



トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION



トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION



株式会社ニフコ
Nifco Inc.



日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.



深田電機株式会社
FUKADA DENKI



富士通株式会社
Fujitsu Limited



ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.



三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance Company, Limited



株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation



株式会社宮本工業
MIYAMOTO INDUSTRY CO., LTD



明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Company



公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI FOUNDATION

北海道通信ビル株式会社
HokkaidoTsushinBldg Co.



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative

Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp